



“第2回(2015年度)ジェネリック医薬品普及推進貢献賞”

最優秀賞 足立区

選考理由

本年は、本賞へ5件の応募があった。選考委員会において審議した結果、2015年度の受賞対象者として標記のとおり決定した。

足立区は、東京都23区、都下市部において推進されているジェネリック医薬品普及活動のなかで最も先導的な取り組みを行ってきている。地方自治体として独自に、ジェネリック医薬品普及を目的として首長（足立区長）を初め行政機関が主体的に動き、地域の医師会、歯科医師会及び薬剤師会などと共に、協議会を設置している。ジェネリック推進担当課を設け、具体的な普及目標値をもってジェネリック医薬品普及推進に貢献していることは、他の地方公共団体への啓発として大きな影響をもたらしていると考えられる。足立区版ロードマップ、協議会内にワーキンググループの設置、後期高齢者医療での使用促進など、すでに推進している取り組みをもとに、これまで以上の成果が期待される。受賞対象業績について応募規定にある「極めて積極的にジェネリック医薬品の普及促進に貢献」との観点から該当する団体として選考した。今回の受賞により、足立区の一層の活動推進をお願いしたい。

なお、今回の最優秀賞の選考にもれた応募対象も、それぞれ特色のある取り組みであったことを付記したい。

平成27年3月10日

ジェネリック医薬品普及推進貢献賞
選考委員会